

第1回学校評議員会 議事録

1 日 時 令和2年6月23日（火）18：30～19：45

2 会 場 北海道鶴川高等学校 進路会議室

3 出席者 評議員：片野歩様、木澤省司様、工藤弘様、佐々木善英様、山谷和彦様  
学校側：三村校長、前川教頭、神谷事務長  
石田企画総務部長、青野教務部長、山橋生徒指導部長、  
武内進路指導部長

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 校長挨拶
- (4) 自己紹介
- (5) 学校経営方針説明（校長）
- (6) 学校概況説明（教頭）
- (7) 各分掌等の取組説明（分掌部長）
- (8) 質疑応答・意見交換 ※以下、その内容。

評議員：学校としてますます進化しているように感じる。昨年授業見学をした際、生徒の授業中の態度がとても良かった。先生方の指導の高さもある。数年前から、苫小牧からの生徒確保にも力を入れてきたが、ここまで変わるのはいすごいし、感動した。新たな取組で、地元の生徒も本校にたくさん入学できるよう、町と力を合わせてお願いしたい。高校だよりも毎月見ている。「地域みらい留学365」は受け入れのみか。

学校側：首都圏などからの高校2年生（1年間）の受け入れのみである。

評議員：学校に新しい風を入れることも大事なので、先生方にとっては負担になるかもしれないが、学校存続と魅力化を進めてもらいたい。また町内においても魅力化を発信し、町民にも知ってもらえるよう、町と一体となって努力を。就職してもフォローする点などは、小規模校ならではの魅力と感じている。

評議員：恐竜は狙い目である。北大の小林快次教授に来てもらい、小学生を対象とした講演を高校で行えば、その中から将来鶴川高校に来る生徒も出てくるかもしれない。恐竜は奥が深いので、ぜひ協力したい。イベントの主催・企画等を高校生がやってみるのも良い。またある保護者から、苫小牧から通わせて子どもの目が変わった、来て良かったとの声も聞いている。少人数でも生徒を受け止めてもらえる部分をアピールしてほしい。

学校側：コンソーシアムの形成や地域みらい留学365を、鶴川高校の将来に繋げていきたい。

評議員：鶴川で中学・高校と通い、子どもも鶴川高校に通わせたが、野球部の礼儀正しさが素晴らしい。野球部以外の生徒も野球部と同じくらいの礼儀正しさが身に付けばさらに素晴らしい。野球部の評判は地元でも高い。部活動加入率をもう一步高めてほしい。取り組みやすい部や同好会を作っても良いのでは。

評議員：チャレンジスタディやむかわ学は素晴らしい取り組み。管外からもっと生徒が集められれば。野球部と吹奏楽部が連携した取組は、学校を活性化させる。

評議員：先生方は人が好きで、子ども達のことを大好きでいてくれる。だから生徒も先生方が大好き。そういう魅力も鷺川高校に感じている。それが生徒や中学生の保護者、特に母親に伝わればもっと良い。苫小牧市内では、鷺川高校の情報があまり入ってこない。鷺川高校の学校祭も入場制限があり、自由に見学できない。苫小牧の中学校の先生から鷺川高校についてはほとんど話がない。中学校の先生方にも魅力を発信してほしい。

- (9) 連絡事項
- (10) その他
- (11) 校長挨拶
- (12) 閉会